

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 11日

事業所名 ハッピーテラス門真教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・トレーニングが十分行えるスペースを確保しております。	・利用者さんが増えた分、過ごし方が様々になってきました。場所を区切るなど、みんなが気持ちよく過ごせるように工夫します。
	2 職員の配置数は適切である	○		・規定もしくはそれ以上の人員を配置しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・段差無しでバリアフリーに配慮しています。	・車椅子の方がご利用いただけるトイレはありません。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・随時会議を行って業務改善を図っています。	・会議や職員面談を定期的に行っていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・必要に応じて随時実施し、業務改善に活かしています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・HP掲載とともに、利用者さんへの配布を行います。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・積極的に研修に参加しています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・独自のアセスメントツールを用いて、またニーズを聞きながらアセスメントを行い、計画を作成しています。	・発達検査結果も用いてより正確にお子様を理解できるよう努めています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・随時会議を行って計画しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・様々なイベントを企画し、楽しみながらいろいろな力を身に付けられるよう工夫しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・通常の支援の他、土曜日や長期休暇にはお出かけの機会を取り入れています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・個別支援の機会を月2回設け、集団ではできない支援を行っております。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・スケジュールや支援における重要なポイントなど毎回話し合っています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・その日の支援を振り返って共有したり、今後の方針を考えたりしています。	・当日できないこともありますが、翌日や次の出勤日に共有できるよう努めています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・毎回、利用者さんごとに記録をつけ、それを基に支援の見直しをしています。	・1週間分まとめてお渡しするため、どうしてもタイムリーではなくなってしまう。できる限り早くお渡しできるよう努力します。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・利用開始時とそれ以降一定期間毎に実施しています。また、機会を見つけて日頃の様子や支援について相談支援事業所と共有しています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		・様々な活動を組み合わせ、支援を行っています。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・基本的には事前に職員で情報共有し、児童発達支援管理責任者が会議に出席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・必要がある場合には積極的にを行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		・現在医療ケアを必要とされるお子様がおられないため、体制を整えておりませんが、今後対象となる方がいる場合には連絡体制を整備してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		・今後必要に応じて情報共有、相互理解に努めていきたいと思えます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		・現時点では卒業して福祉サービス事業所等へ移行された方はいらっしゃいませんが、今後必要に応じて情報提供していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			・研修等には積極的に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		・個人情報の観点、安全性の観点から行っておりませんが、今後保護者様の意向を尊重しながら交流を検討していきたいと思えます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			・毎回必ず参加しています。
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			・送り迎えされる保護者様にはその都度情報共有を心がけています。 ・記録や月次短信などで、正確な情報をお伝えしたり、目標や課題、評価を共有できるようにしたりしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			・必要に応じて、保護者面談の中でご家庭でのお子様への接し方などについて話し合っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			・契約時に説明しています。不明な点については、その都度お伝えしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			・必要に応じて、保護者面談の中でご家庭でのお子様への接し方などについて話し合っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			・学期毎に保護者会を設け、意見交換などできるようにしています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・全職員に周知し、改善策を話し合っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			・毎月、ハッピーテラス通信を発行しています。
	35	個人情報に十分注意している	○			
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			・言葉以外のコミュニケーションツールも用いて意思疎通できるようにしています。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			・今後検討していきたいと思えます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			・マニュアルは策定しておりますが、保護者様への周知ができていなかったため、教室掲示やお便りなどで行っていきたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・月に1回いろいろなバターンの避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・研修には積極的に参加しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		・契約時にご説明を行っております。	・今後現実的に必要だと考えられるお子様については、保護者様と十分協議をした上で、放課後等デイサービス計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		・現在は保護者様にアレルギーの確認は行っていますが、今後必要な場合は医師の指示書に基づいて対応いたします。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・常に情報共有しています。	